

東アジア言語領域

准教授 **孫ミギョン****専門分野**

日・韓地域研究
 日・韓の社会と文化(コンテンツ)
 エスニックコミュニティ研究

学位・資格

文化コンテンツ博士

研究者情報
 (Research Map)

**専門分野と社会との関わり**

近年、外国人住民の増加により、日本国内には多様なエスニックコミュニティおよびエスニック空間が形成されつつある。こうした空間は、単なる生活圏にとどまらず、日本社会における文化的接点として機能しており、多文化的実践や異文化交流が日常的に交差する場となっている。その存在は、ローカルな文脈においてグローバルな経験を可能とする、いわば「縮約された地球規模空間」としての意義を有している。現代のように複雑化・多極化する国際社会においては、単なる語学力や知識以上に、相手の価値観を的確に捉える感受性や、文脈を読み解く共感性が不可欠である。私は、エスニックコミュニティの形成やその社会的機能に関する研究に加え、青森県庁国際交流員としての実務経験、ならびに北東アジア地域自治体連合（NEAR）事務局における各国との実質的な交流活動を通じて、地域・国家間を横断する知見を培ってきた。

今後は、これらの実践と理論を架橋しつつ、学生が多文化的視座を獲得し、国際的感覚と創造的思考を兼ね備えた人材として成長できるような教育環境を構築していきたいと考えている。

**最近の活動紹介****教育活動／研究活動**

大阪・生野とソウル・加里峰洞という二つのエスニック空間を対象に、成り立ちや歴史的背景、地域社会との関係性に着目した比較研究を進めている。両地域は、それぞれ異なる社会的文脈と移民の歴史を持ちながらも、多文化が交差し、摩擦と共生の実践が日常的に展開されている点で共通している。こうした空間においては、周縁化された声や文化的軋轢だけでなく、それらを乗り越えようとする住民主体の対話や創造的な取り組みが見られる。現在は、これらの事例を通じて、地域における葛藤と調整の過程を丁寧に分析しながら、多文化社会への移行に伴う課題と可能性、そして都市空間における新たな公共性のあり方について探究している。

**地域貢献活動****公開講座などでの地域貢献**

多文化社会の形成においては、相互理解が不可欠であり、その出発点は他者を正しく知ることにある。特に隣国である韓国への理解を深めることは、地域における国際共生を考えるうえで重要である。近年の韓流ブームを背景に、韓国文化や言語への関心が高まる中、その関心をより深い理解へとつなげることを目的に、一般市民を対象とした公開講座や地域連携型の文化プログラムに積極的に取り組んでいきたいと考えている。



岐阜市立女子短期大学
 孫ミギョン

教育・研究・地域貢献などへの抱負

言語を用いたコミュニケーションには、常に文化的コードが作用している。たとえば、韓国語の「-uri ching (우리 친구)」という表現には、個と共同体の境界が曖昧である文化的価値観が表れており、そこには言語を超えた思考様式や人間関係の捉え方が内包されている。このように、言語表現の背後には民族固有の世界観が反映されており、それを理解することが異文化理解の第一歩であると考えている。私は、K-POPを入り口としつつ、映画、ドラマ、Web漫画など多様なK-コンテンツを教育に取り入れ、学生が韓国語のみならず、韓国社会や文化への立体的な理解を深められるような学びの場を創出していきたいと考えている。